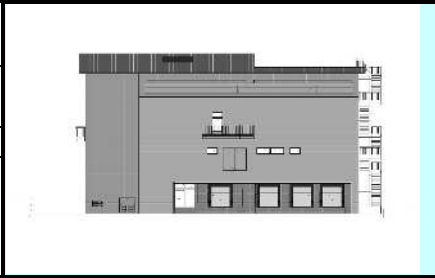


CASBEE® 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	天壇上鳥羽卯ノ花 project	階数	地上4F
建設地	京都市南区上鳥羽卯ノ花1	構造	S造
用途地域	工業地域, 防火地域	平均居住人員	17 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年5月 予定	評価の実施日	2019年10月7日
敷地面積	1,402.48 m ²	作成者	花山
建築面積	824.02 m ²	確認日	
延床面積	2,895.65 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.9

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.5

3 設計上の配慮事項		その他
総合 食品加工工場と社員寮の複合建物であり、各用途、各住戸の断熱性能を高め省エネルギーに努めた。		
Q1 室内環境 内装材は全てF☆☆☆☆を使用し室内環境に配慮している。また、照度を事務エリア: 750lx以上、工場エリア: 500lx以上、寮室: 100lx以上と作業性等に支障のない適切な照度を設定した。	Q2 サービス性能 階高及び天井高さを高めに設定し、将来的な設備の変更にも耐えられるようにした。	Q3 室外環境(敷地内) 屋上の室外機等は、できる限り目隠しルーフ等により見えないように配慮し、最上階にはできる範囲で、勾配屋根を設けて周囲への圧迫感等を和らぐ建物形状及び建物配置にした。
LR1 エネルギー 室内環境の異なる部屋が多いため、各室の断熱性能を高め、太陽光発電やコージェネレーション設備を設置し、省エネルギーに努めた。	LR2 資源・マテリアル リサイクル資材をできる限り採用した。	LR3 敷地外環境 従業員等の駐輪及び駐車場をできり限り設けた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される